

今年も豪華なゲストを迎え第30回東京国際映画祭のオープニングイベントが10月25日(水)15時～18時 レッドカーペット【会場】六本木ヒルズアリーナ。18時～19時30分 オープニングセレモニー【会場】EXシアター六本木にて開催された。

記念すべき30回目を迎える東京国際映画祭(以下、TIFF)は今年、世界各国から集まったTIFFゆかりの映画人からのお祝いコメントを、アニバーサリーイヤーを盛り上げる一環として、映画祭開催までに、公式YouTube及び公式SNSにて世界配信することが決定したと発表した。

今年、第30回記念開催を迎える東京国際映画祭(10月25日(水)～11月3日(金・祝))は大きなビジョンの一つとして「映画の未来の開拓」を掲げている。

同世代の若い方々に映画の魅力を伝えていく大使として、今年の邦画興行収入ナンバーワン映画の『銀魂』のヒロインの神楽役を演じ、同じくヒロインを演じる『斉木楠雄のΨ難』が公開を間近に控える、橋本環奈が「第30回東京国際映画祭アンバサダー」に就任した。

開催前は、小雨降る寒空の中であったが開始時間が近づく頃には、雨もやみアンバサダーの橋本環奈を皮切りに、豪華ゲスト陣がレッド・カーペットに進んだ。

今年、SAMURAI 賞を受賞、さらに映画

祭会期中にスペシャルトークイベントを実施予定の坂本龍一氏、「Japan Now」部門での『光』上映をはじめ映画祭イベント複数回登場を予定している河瀬直美監督、その『光』にも主演し、今年のコンペティション部門の審査員を務める俳優・永瀬正敏氏、第24回東京国際映画祭ではコンペティション部門で審査委員も務めた中国のファン・ビンビン氏、日本映画界を代表する巨匠・山田洋次監督、今年の「ワールド・フォーカス」部門で自身の新作『レット・ザ・サンシャイン・イン』が上映されるジュリエット・ビノシュ氏と、豪華メンバーからのコメントが揃った。

Japan Now部門女優特集「Japan Now 銀幕のミュージズたち」安藤サクラ、蒼井優、満島ひかり、宮崎あおい登場。

85年生まれの同世代の「ミュージズ」たちは、「映画祭には初めて参加します。皆さん楽しんで下さいね」と満島ひかり「厄年だけど頑張るぞ!」と安藤サクラ。とそれぞれコメントした。

同世代でありながら、別々の個性を持ち、その魅力で日本映画シーンを牽引する女優陣の最新作やターニングポイントとなった作品などを上映するとともに、本人と実際にインスパイアを受けた監督やクリエイターにご登壇頂きトークイベントを実施する。としている。

本稿では、レッドカーペットの模様を写真で速報する。



アンバサダーを務める橋本環奈さん、フェスティバルディレクターの久松猛朗氏と。レッドカーペット最終は、世耕弘成経済産業大臣、令夫人、迫本淳一(松竹株式会社代表)



クロスカットアジアの方々



特別招待作品「ミッドナイト・バス」出演の小西真奈美さん



ピカチュウとミミッキュ



アジアの未来「僕の帰る場所」出演の女優ケインミヤットゥさん、俳優カウミヤットゥさん



コンペティション作品「スヴェタ」ジャンナイサバエヴァ監督、ラウラ・コロリョヴァ（女優）さん、ロマン・リスツォフさん



MPAA、MPAの方々



特別上映作品：リュミエール!のティエリーリモー監督



「怪怪怪物」出演のユージェニー・リウさん



Japan Now 部門 女優特集「Japan Now 銀幕のミュージズたち」安藤サクラさん（© TIFF2017）、蒼井優さん（© TIFF2017）、満島ひかりさん、宮崎あおいさん。



「原恵一の世界」原監督



JAZPAN NOW 花筐：大林宣彦監督、出演者の方々。常盤貴子さん







コンペティション国際審査委員長：トミー・リー・ジョーンズ氏、



オープニングセレモニーでの審査員の方々 (© TIFF2017)



審査員の俳優、永瀬正敏氏。監督、プロデューサーのレザ・ミルキャリミ氏（イラン）。女優のヴェッキー・チャオ氏（中国）。俳優から監督に転身マルタン・プロヴォ氏（フランス）。



コンペティションノミネート作品、「勝手にふるえてろ」の大丸明子監督と出演者。



コンペティションノミネート作品、「最低」の瀬々敬久監督と出演者。



オープニングスペシャル「空海」：染谷将太氏、阿部寛氏、松坂慶子さん



オープニング作品：「鋼の錬金術師 普利文彦監督と出演者。

